

～中小企業等の「稼ぐ力」の向上を目指します～ 「一歩」を踏み出すお手伝いをします!!

新産業の創出

独自の技術やアイデアを生かした新製品の開発など、**新たな事業**に取り組みませんか?
〈新産業創出室〉

挑戦してみようかな…!

go!



12月1日 水曜日 日直しおた

円滑な事業承継を支援

そろそろ、他の会社や親族への**引継ぎの準備**を始めませんか?
〈中小企業支援課〉

なるほど…!



明るい兆しが見えてきた!

- よい製品を効率よく生産できる! 企業が発展し利益も所得もアップ!
- 将来を担う新たな産業が生まれ、雇用の確保もできる!
- エコな企業になる!
- 県内企業の事業が継続!



こうちゃんクイズ

県民が豊かになるためには中小企業の●●●●●●の向上が必要です。
●に当てはまる言葉は何でしょう?
ヒント:ひらがな6文字です。

* 取組事例 *

漬物の製造工程の状況を確認するため、**高性能のカメラやタブレット**等を用いたシステムを構築しました。
作業時間の大幅な削減により生産性が向上しました。

〈漬物製造業〉



問い合わせ先 中小企業支援課 ☎099-286-2951

問い合わせ先 かごしま産業支援センター ☎099-219-1270



必ず取り戻す! 皆様のお力をお貸しください。 ～北朝鮮による拉致問題～

北朝鮮による拉致問題とは

「拉致」とは、**本人が望まないのに連れ去る**ことです。1970年代から1980年代にかけて、北朝鮮は多くの日本人を本人の意思に反して連れ去りました。

政府が北朝鮮による拉致被害者として認定している**17名**のうち、帰国を果たしたのはたったの**5名**であり、**残りの12名**については**未だ帰国できておりません**。

なお、この他にも拉致の可能性を排除できない方がいらっしゃいます。

本県の拉致被害者



いちかわ しゅういち
市川 修一さん
(当時23歳)



ますもと
増元 るみ子さん
(当時24歳)

1978年8月12日、「浜に夕日を見に行く」といって、日置市の吹上浜海岸に出かけたまま、忽然と姿を消しました。43年たった今でも、北朝鮮に拉致されたまま、帰国していません。

ブルーリボンをご存じですか?

拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示を示すリボンのこと。

青色は、日本と北朝鮮を隔てる「日本海」と被害者と御家族を唯一結ぶ「空」を表しています。

「パネル展」を実施します!

12月10日～16日は、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。県内各地で「パネル展」を実施します。

詳しくはこちらをご覧ください。▶



拉致被害者御家族からのメッセージ

コロナ禍で、拉致被害者救出の活動は大きく制限され、悔しい思いをしています。理不尽に拉致され、40年以上北朝鮮に抑留されている被害者は今も助けを待っています。

被害者の帰国を待ち続けている家族は高齢化が進み一刻の猶予もありません。県民の皆さん、拉致被害者全員が祖国の土を踏むまで、皆様のお力を私達家族にお貸しくください。よろしく願いいたします。



市川 健一
(市川修一さんの兄)

問い合わせ先 社会福祉課 ☎099-286-2828